

平成 29 年度 特別養護老人ホームふるさと（長期入所）事業計画

【基本方針】

団体生活の枠にとらわれず、家庭生活により近い施設生活の提供を行う

【年間目標】

- ① 言葉使い、礼儀を徹底する
- ② 基本的なサービスの質を向上し、維持していく
- ③ レクリエーション・行事を充実し、楽しい施設生活を送る
- ④ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を常に意識する
- ⑤ 短期入所と合わせて 99.5%以上の稼働を目指す

【実践計画】

- ① 言葉使い、礼儀を徹底する
 - ・ 人生の先輩であるという、敬う気持ちを持って接することを基本とする
 - ・ 行動基準として①笑顔②明るい挨拶③正しいお辞儀を徹底させる
 - ・ 丁寧語で話すことを基準とし、声のトーンや口調、表情にも気を付ける
 - ・ 不適切と思われる言葉を使用しないといけない場合は、ケアプランにて同意を得る
 - ・ 誰が聞いても不快な発言はしない
 - ・ 常に相手の立場に立った行動、言葉遣いができるようになる
 - ・ ご入居者・ご家族と、職員であるというけじめをしっかりとつける
 - ・ 接遇・マナーについて勉強会をおこない、定期的に全体で評価しながら、ふるさとの職員らしい言葉使い・礼儀を確実に身に付ける
 - ・ 職員同士の言葉使いを日頃から意識し、職員間でお互いに評価する機会を設ける
 - ・ 職員一人一人が常に意識し、自覚を持ち行動すると共に、お互いに注意し合える環境を作る
- ② 基本的なサービスの質を向上し、維持していく
 - ・ 「基本的な介護技術」を実践するために、生活の流れを通して、ご入居者が心地良い介護を常に考え実践する
 - ・ 介護技術や知識の自己評価・職員間評価をおこない、個々の持つ強み弱みを正しく把握し、各自がスキルアップできるようスーパービジョンの場を設ける
 - ・ 勉強会や研修会に参加できる環境整備を行い、学んだ知識・技術を職員間で共有すると共に、課題や改善点について話し合い、職場全体の向上につなげていく
 - ・ ご入居者・ご家族・担当職員等と過ごす時間をもち、ご入居者の様子や変化・施設に対して要望を聞く機会を持つ
 - ・ ご入居者のケアプランを把握すると共に、記録を充実させ職員間の情報を共有し

統一したケアを提供する

- ・安定した生活が長く継続できるよう機能訓練を積極的に取り入れる
- ・安心・安楽な最期を迎えて頂ける様、職員間の連携を図り、きめ細やかなケアを提供する
- ・家族会を年2回開催する

③レクリエーション・行事を充実し、楽しい施設生活を送る

- ・日々のレクリエーションを充実させ、ご家族の面会時に一緒に楽しんで頂く
- ・四季を感じて頂ける様に環境面を工夫し、レクリエーションに取り入れていく
- ・ご家族に行事やレクリエーションに参加して頂ける様、積極的に働きかけ、ご入居者と共に過ごす時間を作っていく
- ・ご入居者の個々をより良くするための個別レクリエーションを担当職員が考え、実践していく

④5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を常に意識する

- ・整理・・・必要なものと不必要なものに分ける（物・スペース・仕事・情報）
- ・整頓・・・必要な物だけを置き場を決めて表示する
- ・清掃・・・身の回りの物や職場をきれいにする
- ・清潔・・・見た目のきれいさを保つと共に、人格や品行も含めて清くする
- ・躰・・・上記の4Sを習慣づけ・維持し、更に良い方法を探索し、職場のルールや規律・決まり事を守ることを徹底する
- ・こまめに室温管理・照明管理をおこない、ガス代・電気代を削減する
- ・入浴時介助時の湯量を調整し、水道代を削減する
- ・リースタオル類等、無駄使いを無くす

⑧短期入所と合わせて99.5%以上の稼働（長期のみでは96.0%）を目指す

- ・ご入居者の早期異常発見・対応に努め入院者を減らす
- ・入院者の状態把握をし、スムーズな退院調整、空床コントロールをする
- ・急な退所があっても、その後スムーズな入所ができるよう調整・準備をする
- ・リスク管理を徹底し、事故防止に努める（特に転倒、誤嚥性肺炎等）